



2021年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年2月10日

上場会社名 株式会社プレミアムウォーターホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2588 URL <https://premiumwater-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)萩尾 陽平
 問合せ先責任者 (役職名)上級執行役員経営管理本部長 (氏名)清水 利昭 (TEL)03(6864)0980
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	41,595	23.3	3,418	133.5	3,083	149.8	1,813	124.8	1,813	124.8	1,811	131.4
2020年3月期第3四半期	33,739	21.1	1,463	64.8	1,234	68.3	806	—	806	—	783	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	63.94	59.88
2020年3月期第3四半期	28.37	26.10

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	51,424	8,945	8,928	17.4
2020年3月期	42,454	6,691	6,674	15.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	23.2	4,100	120.5	2,900	55.4	99.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	28,469,102株	2020年3月期	27,567,002株
2021年3月期3Q	372株	2020年3月期	334株
2021年3月期3Q	27,707,653株	2020年3月期3Q	27,444,180株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 上記のA種優先株式は、2017年9月に発行しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内の個人消費は、依然として新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、厳しい状況が続いています。段階的に経済活動が再開されたことで回復の兆しも見え始めていましたが、今冬の全国的な再拡大により、再び先行きは不透明な状況となっています。消費者の生活様式や価値観が変化しつつある中、在宅時間の長期化や内食需要の高まりにより、個人消費は生活必需品を中心として好調な状況が続いています。こうした状況下において、「冷温水が簡単に利用できる」、「日本の良質な天然水が定期的に自宅まで配達される」といった利便性や安全性等によって、宅配水（ウォーターサーバー）への認知度が高まり、当社グループの事業環境へ好影響を及ぼしています。今後も当社グループでは、お客様に安心・安全で高品質な飲料水を安定的に提供できる体制の構築に務めてまいります。

当第3四半期連結累計期間においては、在宅時間の増加や内食需要の高まりにより、既存顧客による宅配水消費量が増加いたしました。また、新規顧客の獲得においても、ショッピングセンター等の商業施設に人が戻り、新型コロナウイルス感染拡大の防止策を講じながらのデモンストレーション販売の実施やテレマーケティング・Webによる非接触型の営業活動を積極的に展開した結果、順調に推移いたしました。さらに、お客様からのお問い合わせサービスの対応強化等、既存顧客の継続率向上につながる様々な施策を進めた結果、売上収益は41,595百万円（前年同期比23.3%増）となりました。

営業利益については、原材料の仕入価格の低下や保有顧客数の増加に伴う各工場の稼働率の向上等による製造原価の低減や物流費の抑制などにより、3,418百万円（前年同期比133.5%増）となりました。

なお、税引前四半期利益は3,083百万円（前年同期比149.8%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,813百万円（前年同期比124.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

(資産)

資産は前連結会計年度末に比べて8,969百万円増加し、51,424百万円となりました。主な増加要因は、有形固定資産の増加2,673百万円及び新規契約の獲得に伴う契約コストの増加1,983百万円であります。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比べて6,715百万円増加し、42,478百万円となりました。主な増加要因は、新規獲得顧客へ貸与するウォーターサーバーの調達及び社債の発行に伴う有利子負債の増加5,145百万円であります。

(資本)

資本は前連結会計年度末に比べて2,254百万円増加し、8,945百万円となりました。主な増加要因は、親会社の所有者に帰属する四半期利益の増加1,813百万円であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は10,505百万円と前連結会計年度末（10,238百万円）に比べて267百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、5,934百万円と前第3四半期連結累計期間（5,014百万円）に比べて920百万円の増加となりました。この主な要因は、税引前四半期利益3,083百万円の計上及び資金の支出を伴わない減価償却費及び償却費5,168百万円等による資金の増加があった一方、契約コスト1,983百万円等による資金の流出があったことです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は、3,525百万円と前第3四半期連結累計期間（1,486百万円）に比べて2,039百万円の増加となりました。この主な要因は、債務保証に係る保証金の預け入れによる支出2,000百万円が発生したことと、新規契約件数の増加に伴うウォーターサーバーの取得数の増加、工場関連設備の投資実施及び顧客管理システムの改修等に伴い、有形固定資産及び無形資産の取得による支出1,522百万円が発生したことです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は、2,148百万円と前第3四半期連結累計期間(2,296百万円)に比べて147百万円の減少となりました。この主な要因は、社債の発行による長期有利子負債の収入5,769百万円があった一方で、金融機関等への返済に伴う短期有利子負債への支出2,000百万円及び長期有利子負債の支出6,281百万円があったことです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結累計期間の実績及び足元の業績動向を踏まえ、2020年8月6日に公表いたしました2021年3月期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2021年2月10日)公表いたしました「通期業績予想(IFRS)の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2020年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	10,238	10,505
営業債権及びその他の債権	5,369	6,625
棚卸資産	310	358
その他の金融資産	647	2,609
その他の流動資産	1,531	912
流動資産合計	18,097	21,011
非流動資産		
有形固定資産	13,638	16,311
のれん	149	149
無形資産	1,751	1,824
持分法で会計処理されている投資	26	44
その他の金融資産	555	666
繰延税金資産	1,735	2,936
契約コスト	6,487	8,471
その他の非流動資産	13	8
非流動資産合計	24,357	30,412
資産合計	42,454	51,424

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2020年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	7,602	7,776
有利子負債	9,695	8,472
未払法人所得税	904	2,107
その他の流動負債	688	720
流動負債合計	18,891	19,076
非流動負債		
有利子負債	16,534	22,903
引当金	145	290
繰延税金負債	22	1
その他の非流動負債	168	206
非流動負債合計	16,871	23,402
負債合計	35,763	42,478
資本		
資本金	4,046	4,235
資本剰余金	3,380	3,633
利益剰余金	△749	1,064
自己株式	△0	△0
その他の包括利益累計額	△2	△4
親会社の所有者に帰属する持分合計	6,674	8,928
非支配持分	17	16
資本合計	6,691	8,945
負債及び資本合計	42,454	51,424

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上収益	33,739	41,595
売上原価	5,480	5,982
売上総利益	28,258	35,612
その他の収益	11	32
販売費及び一般管理費	26,800	31,993
その他の費用	6	233
営業利益	1,463	3,418
金融収益	32	15
金融費用	280	367
持分法による投資利益	18	17
税引前四半期利益	1,234	3,083
法人所得税費用	427	1,270
四半期利益	806	1,813
四半期利益(△は損失)の帰属		
親会社の所有者	806	1,813
非支配持分	0	△0
四半期利益	806	1,813
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	28.37	63.94
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	26.10	59.88

第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上収益	11,746	14,436
売上原価	1,818	2,075
売上総利益	9,927	12,360
その他の収益	3	8
販売費及び一般管理費	9,235	11,075
その他の費用	3	3
営業利益	691	1,290
金融収益	23	4
金融費用	66	129
持分法による投資利益	5	5
税引前四半期利益	654	1,171
法人所得税費用	273	471
四半期利益	380	699
四半期利益(△は損失)の帰属		
親会社の所有者	380	699
非支配持分	0	△0
四半期利益	380	699
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	13.34	24.61
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	12.26	22.92

要約四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期利益	806	1,813
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジの有効部分	△27	3
在外営業活動体の換算差額	3	△5
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△23	△1
税引後その他の包括利益	△23	△1
四半期包括利益	783	1,811
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	782	1,811
非支配持分	0	△0
四半期包括利益	783	1,811

第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期利益	380	699
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジの有効部分	△28	1
在外営業活動体の換算差額	△9	△2
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△38	△0
その他の包括利益	△38	△0
四半期包括利益	341	699
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	341	699
非支配持分	0	△0
四半期包括利益	341	699

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 包括利益 累計額			
2019年4月1日	2,614	1,898	△2,616	△0	△3	1,892	17	1,909
四半期包括利益								
四半期利益(△は損失)	—	—	806	—	—	806	0	806
その他の包括利益	—	—	—	—	△23	△23	—	△23
四半期包括利益合計	—	—	806	—	△23	782	0	783
所有者との取引額等								
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0	—	△0
新株の発行(新株予約権の行使)	16	16	—	—	—	32	—	32
株式報酬取引	—	37	—	—	—	37	—	37
資本分類の変更	1,400	1,400	—	—	—	2,800	—	2,800
所有者との取引額等合計	1,416	1,453	—	△0	—	2,869	—	2,869
2019年12月31日	4,030	3,352	△1,809	△0	△27	5,545	17	5,562

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 包括利益 累計額			
2020年4月1日	4,046	3,380	△749	△0	△2	6,674	17	6,691
四半期包括利益								
四半期利益(△は損失)	—	—	1,813	—	—	1,813	△0	1,813
その他の包括利益	—	—	—	—	△1	△1	—	△1
四半期包括利益合計	—	—	1,813	—	△1	1,811	△0	1,811
所有者との取引額等								
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0	—	△0
新株の発行(新株予約権の行使)	189	169	—	—	—	358	—	358
新株予約権の発行	—	3	—	—	—	3	—	3
株式報酬取引	—	80	—	—	—	80	—	80
所有者との取引額等合計	189	253	—	△0	—	442	—	442
2020年12月31日	4,235	3,633	1,064	△0	△4	8,928	16	8,945

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,234	3,083
減価償却費及び償却費	4,566	5,168
金融収益	△32	△15
金融費用	280	367
持分法による投資損益(△は益)	△18	△17
契約コストの増減額(△は増加)	△1,144	△1,983
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△972	△1,000
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	910	853
棚卸資産の増減額(△は増加)	△43	△47
その他	684	378
小計	5,464	6,786
利息の受取額	2	1
利息の支払額	△259	△286
法人所得税の支払額	△193	△567
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,014	5,934
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△1,387	△1,522
貸付けによる支出	△43	△13
貸付金の回収による収入	20	80
敷金及び保証金の差入による支出	—	△2,150
その他	△76	78
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,486	△3,525
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期有利子負債の収支(△は支出)	—	△2,000
長期有利子負債の収入	3,200	5,769
長期有利子負債の支出	△5,528	△6,281
自己株式の取得による支出	△0	△0
新株予約権の行使による収入	32	358
新株予約権の発行による収入	—	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,296	△2,148
現金及び現金同等物に係る換算差額	25	7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,257	267
現金及び現金同等物の期首残高	6,734	10,238
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	13	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,005	10,505

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、ナチュラルミネラルウォーターの製造及び宅配形式による販売が主要な事業内容であり、区分すべき事業セグメントが存在しないため、報告セグメントは単一となっております。

② 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、その他の項目の金額の算定方法

単一セグメントのため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

基本的1株当たり四半期利益及び算定上の基礎、希薄化後1株当たり四半期利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
(1) 基本的1株当たり四半期利益	28円37銭	63円94銭
(算定上の基礎)		
親会社の所有者に帰属する四半期利益(百万円)	806	1,813
親会社の普通株主に帰属しない金額(百万円)		
資本に分類される優先株式への配当(百万円)	28	42
基本的1株当たり四半期利益の算定に用いる金額(百万円)	778	1,771
普通株式の加重平均株式数(千株)	27,444	27,707
(2) 希薄化後1株当たり四半期利益	26円10銭	59円88銭
(算定上の基礎)		
基本的1株当たり四半期利益の算定に用いる金額(百万円)	778	1,771
希薄化後1株当たり四半期利益の算定に用いる金額(百万円)	778	1,771
普通株式の加重平均株式数(千株)	27,444	27,707
新株予約権による普通株式増加数(千株)	2,385	1,879
希薄化後1株当たり四半期利益の算定に用いる普通株式の加重平均株式数(千株)	29,829	29,587

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
(1) 基本的1株当たり四半期利益	13円34銭	24円61銭
(算定上の基礎)		
親会社の所有者に帰属する四半期利益(百万円)	380	699
親会社の普通株主に帰属しない金額(百万円) 資本に分類される優先株式への配当(百万円)	14	14
基本的1株当たり四半期利益の算定に用いる 金額(百万円)	366	685
普通株式の加重平均株式数(千株)	27,469	27,860
(2) 希薄化後1株当たり四半期利益	12円26銭	22円92銭
(算定上の基礎)		
基本的1株当たり四半期利益の算定に用いる 金額(百万円)	366	685
希薄化後1株当たり四半期利益の算定に用いる 金額(百万円)	366	685
普通株式の加重平均株式数(千株)	27,469	27,860
新株予約権による普通株式増加数(千株)	2,408	2,055
希薄化後1株当たり四半期利益の算定に用いる 普通株式の加重平均株式数(千株)	29,878	29,916

(重要な後発事象)

(重要な設備投資)

当社は、2020年11月6日開催の取締役会にて、当社の連結子会社であるプレミアムウォーター中部株式会社における固定資産（土地）の取得について決議し、同社は、2021年1月15日に以下の固定資産（土地）を取得いたしました。

(1) 取得の目的

プレミアムウォーター中部株式会社における新工場の設立のための事業用地として取得するものです。

(2) 設備投資の概要

所在地 岐阜県本巣郡北方町
敷地面積 48,366㎡
取得価額 1,434百万円
資金調達方法 自己資金及び金融機関からの借入金

(3) 取得の時期

取得日 2021年1月15日

(4) 当該事象の損益に与える影響

当該固定資産の取得による2021年3月期の業績に与える影響は軽微であります。